

東京基督教大学 30周年記念企画

# ミシェル & 康子ブヴァール オルガン コンサート ～ヨーロッパ音楽散歩～

F.クープラン  
修道院のミサ曲より  
「グラン・ジューの奉献唱」

H.パーセル  
ヴォランタリー ト長調

J.S.バッハ  
G線上のアリア  
目覚めよと呼ぶ声が聞こえ

W.A.モーツァルト  
ディベルティメント 変口長調K240  
他

2022年 11月12日(土)

12:45開場 13:30開演

東京基督教大学チャペル

入場料 一般3,000円 学生2,500円

**全自由席**

感染対策のため、座席数を減らして販売します。  
どうぞお早めにお求めください。

●チケットはこちらからお求めください。  
<https://teket.jp/4123/14167>



未就学児の入場はご遠慮ください。新型コロナウイルス感染状況により、プログラムの変更や公演中止の可能性があります。

主催 | 東京基督教大学  
後援 | 印西市 / 印西市教育委員会

お問い合わせ | 東京基督教大学教会音楽アカデミー 〒270-1317 千葉県印西市内野3-301-5  
(TEL) 0476-46-1131 (URL) <https://www.tci.ac.jp> (MAIL) [music@tci.ac.jp](mailto:music@tci.ac.jp)

**M.ブヴァール オルガンマスタークラス開催!**

11月11日(金) 13:00~16:30

〔課題曲等、詳細・お申込みは  
大学ウェブサイトをご覧ください。〕

受講料 聴講料

一般 10,000円 2,000円

学生 8,000円 1,500円

ごあいさつ

東京基督教大学は2020年に創立30周年を迎えました。このコンサートはその記念行事として2020年11月に開催する予定でした。しかし新型コロナウイルスの影響により延期が続き、今年ようやく3年越しの開催となります。今回のテーマは「ヨーロッパ音楽散歩」です。イギリス、フランス、ドイツ、オーストリアのオルガン音楽を世界的に著名なブヴァール夫妻によるソロと連弾でお楽しみください。

教会音楽主任 宇内 千晴

# Profile

## ミシェル・ブヴァール

フランスオルガン界の巨匠、世界的オルガニストの一人。祖父はL. ヴィエルネに師事したオルガニスト兼作曲家。A. イゾワール、J. ボワイエ、F. シャプレー、M. シャピュイに師事。1983年トゥールーズの国際オルガンコンクール優勝。1985年トゥールーズ地方音楽院のオルガン教授に就任。1996年に「トゥールーズ国際オルガンフェスティバル」を創立、「演奏家のためのトゥールーズ高等音楽・舞踏研究センター」を設立。1995年、パリ国立高等音楽院のオルガン教授に就任。フランスのみならず、イーストマン音楽学校、イエール大学、東京藝術大学などからも招かれ、若手オルガニストの指導にあたる。その傍ら、現在まで25か国で千回以上のコンサートを行う。

1996年、トゥールーズのサン・セルナン・バジリカ大聖堂にある歴史的なカヴァイエ=コルの正オルガニストに任命。2010年からはヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂の4名の首席オルガニストのひとり。最近再リリースされたF. ケープランのオルガン作品は音楽雑誌「ディアパーソン」の「必要不可欠な録音コレクション」の1つに選ばれた。



## 宇山=ブヴァール康子

東京芸術大学オルガン科卒業後、M. シャピュイ、H. ドレイフュス、J.V. インマーゼル、G. レオンハルトなどに師事。パリの国際コンクール（チェンバロ）、スペインのトレド国際コンクール（オルガン）で第一位を獲得。ヨーロッパで名高い古典管楽器のアンサンブル、レ・サックブティエの中心メンバー。2006年、A. ワルターのコピー、C. クラーク製作のピアノフォルテを入手し、ウィーンクラシックのレパートリーを古楽器で演奏するアンサンブルを創設。ハイドンのピアノソナタ、変奏曲をピアノフォルテ、自動オルガン曲を歴史的なオルガンで録音したCDは批評家から絶好の称賛を得る。

フランスの国家教授資格試験を得た後、現在、トゥールーズ地方音楽院クラヴサン、フォルテピアノ教授。古典バロックオルガン／ドロネー（17世紀）、ミコー（18世紀）を経た歴史的な楽器のあるサン・ピエール・デ・シャルトリュー教会、サン・ピエール・デ・シャルトリュー教会オルガニスト。



## 東京基督教大学アクセス

北総線「千葉ニュータウン中央駅」下車

- 南口バス乗り場 千葉レインボーバス高花行で「電話局」下車 徒歩10分
- もしくは駅から徒歩25分

駐車場あり